

平成29年度 事業実施方針

人口減少と少子高齢化が同時進行する中、兵庫の活力を維持、増強するため、新たな価値を生み出す科学技術に求められる役割は極めて大きいものがある。

兵庫県には、大型放射光施設SPring-8やスーパーコンピュータ「京」、X線自由電子レーザー「SACLA」など、先端的な科学技術基盤があり、優れた技術やノウハウを持つ多彩なものづくり産業が数多く集積している。

当協会は兵庫県における科学技術振興の中核的機構として、県の科学技術政策と緊密な連携を図りつつ、学術研究助成事業や科学技術に関する普及啓発事業をはじめとする様々な事業を展開しており、引き続き兵庫県や地元自治体、商工会議所、大学の研究機関等との緊密な連携を図りつつ、より一層の効果的な事業選択・執行に努めながら、以下の取り組みを行う。

1 科学技術の総合的な振興

兵庫県における創造的な科学技術の振興を図るため、県の科学技術政策との連動性を高めた県域における具体的推進方策に関する調査研究に取り組む。

協会設立以来の基幹的事業である科学技術に関する学術的研究の助成については、本年度においても、基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究に対して、学術研究助成を実施し、学術研究助成金の贈呈式と併せて、研究助成者による研究内容の発表会を行う。

また、実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、県内の工業高等専門学校に実践的教育として認知度の高い「高専ロボコン」への参加費用を助成する。

2 科学技術の普及・啓発

県民の科学技術に対する情報提供や興味・関心を高めるため、機関誌「ひょうごサイエンス」の発行や「ひょうご科学技術トピックスセミナー」、「サイエンスカフェひょうご」を実施するとともに事業内容の充実を図る。さらに、当協会と密接な連携のある県内大学、企業等とともに「国際フロンティア産業メッセ」へ出展する。

また、青少年に対する普及啓発事業として、「科学学習体験ツアー」や「青少年のための科学の祭典」、「サイエンスボランティア」など各種事業を実施しているが、今年度より県内の高校やサイエンスフェアにおいて理系大学生・大学院生が研究内容・学生生活の魅力の発信、進路相談を行う「サイエンスフレンドシップ」事業を本格的に実施する。

3 地域産業の技術開発力の強化・育成

企業の技術課題解決のため、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施し、研究、技術開発等を支援する。

また、地域企業の新技術、新製品開発、新分野進出を促進する産学官連携の共同研究や地域企業に係る技術ニーズと県内の大学との研究シーズのマッチングの場の提供、企業等の技術高度化及び地域経済の活性化・強化のため、地元商工会議所との共催事業を実施する。

さらに、IoT、人工知能、オープンイノベーションなど、製造や研究開発の変革に関する情報を提供するため、播磨地域の企業を対象に「次世代イノベーションセミナー」を開催する。